

神奈川県第2回5年公募公債 (グリーンボンド) レポーティング



1 神奈川県第2回5年公募公債(グリーンボンド)発行概要

銘柄名称	神奈川県第2回5年公募公債(グリーンボンド)
年限	5年(満期一括償還)
発行額	100億円
発行利率	0.001%
条件決定日	令和3年10月22日
発行日	令和3年11月2日
引受会社	SMBC日興証券株式会社(事務) 野村証券株式会社
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)の評価により、 ・国債資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則2018 及び ・環境省グリーンボンドガイドライン2020年版 に適合していることについて、確認を受けています。

(参考) 投資表明の状況 ①

投資表明投資家一覧(80件)

(五十音順)

株式会社 IWD	厚木市	五十嵐運輸 株式会社	岩井機械工業 株式会社	株式会社 エクセル
大磯町	オカムラグループ 健康保険組合	株式会社オハラ	株式会社 織戸組	加古川市
株式会社 加瀬倉庫	株式会社 神奈川銀行	公益財団法人神奈川 芸術文化財団	神奈川県 砕石工業組合	神奈川県 住宅供給公社
一般社団法人 神奈川県保健協会	公益財団法人 神奈川県公園協会	かながわ信用金庫	株式会社 神奈川保健事業社	川崎市 信用保証協会
川崎信用金庫	学校法人関東学院	株式会社崎陽軒	株式会社京都銀行	杏林製薬株式会社
株式会社 きらぼし銀行	工藤建設 株式会社	株式会社 クリエイトSDホールディ ングス	公益財団法人 国際保険振興会	公益財団法人 相模中央化学研究所
株式会社 サンオータス	重田建設企業 株式会社	公益財団法人 自動車リサイクル促進 センター	湘南信用金庫	一般財団法人 シルクセンター国際貿 易観光会館
信金中央金庫	株式会社 新生銀行	シシド静電気 株式会社	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター	株式会社 セブン銀行

(参考) 投資表明の状況 ②

(五十音順)

学校法人 総持学園	大黒倉庫株式会社	株式会社 第四北越銀行	株式会社 大和ネクスト銀行	株式会社 タウンニュース社
高尾工業株式会社	中栄信用金庫	中南信用金庫	株式会社筑波銀行	株式会社 テクノジャパン
株式会社 テレコム	株式会社テレビ神奈川	東京汽船株式会社	学校法人 藤嶺学園 鶴沼高等学校	中田運輸 株式会社
日本鑄造株式会社	日本コープ共済 生活協同組合連合会	野村信託銀行 株式会社	秦野市農業協同組合	平塚市
富士工業株式会社	株式会社 フリーデン	宗教法人 宝袋寺	株式会社 放電精密加工研究所	馬淵建設株式会社
三井住友トラスト・ア セットマネジメント 株式会社	三菱化工機株式会社	株式会社三菱UFJ銀行	三菱UFJ信託銀行 株式会社	株式会社みなと銀行
山北町	ユーミーらいふ グループ	株式会社横浜銀行	公益財団法人 横浜市スポーツ協会	公立大学法人 横浜市立大学
横浜新都市センター 株式会社	横浜信用金庫	横浜市信用保証協会	株式会社 ラフアンドロード スポーツ	株式会社琉球銀行

2 神奈川県第2回5年公募公債(グリーンボンド)の充当事業について

【充当状況】

神奈川県第2回5年公募公債(グリーンボンド)については、令和3年度に実施をした以下の事業に全額充当しております。

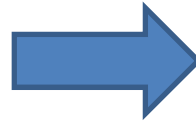
分類	事業内容	充当額 (充当割合)
河川の緊急対応	氾濫の危険性が特に高い区間の堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施	930百万円 (9.30%)
	嵩上げコンクリート等の緊急対応工事を実施	440百万円 (4.40%)
遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備	遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等を重点的、集中的に実施	5,620百万円 (56.20%)
海岸保全施設等の整備	高潮や高波で家屋などに被害が発生した海岸について、優先的に護岸等の海岸保全施設を整備	430百万円 (4.30%)
土砂災害防止施設の整備	地域防災計画に位置付けられた避難路の被害を受ける恐れのある箇所などについて、砂防堰堤等の整備を重点的に実施	814百万円 (8.14%)
	急傾斜地の土砂災害警戒区域のうち、要配慮者利用施設のある箇所や過去にがけ崩れがあった箇所など、早期に対策を実施すべき箇所から重点的に整備	1,766百万円 (17.66%)
合 計		10,000百万円 (100%)

3 緊急に実施することで被害を最小化するハード対策(河川の緊急対応)

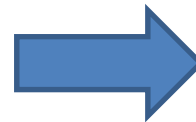
対象事業		アウトプット (令和3年度)	環境改善効果	令和3年度 事業費
河川改修 事業費	令和元年の台風第19号により、新たに土砂が堆積する等、氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。 (相模川、酒匂川、金目川など)	<p>《実施箇所》 相模川、酒匂川、金目川など 河床掘削・樹木伐採 28箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 相模川、酒匂川、金目川など 12河川27箇所</p>	<p>嵩上げコンクリート等の緊急対応工事や増水時の被災の未然防止対策工事を実施した箇所数</p> <p>河床掘削・樹木伐採 39河川74箇所</p> <p>緊急補修等の未然防止対策工事等 14河川19箇所</p>	<p>3年度事業費 ⇒2,671百万円</p> <p>グリーンボンド充当額 ⇒650百万円 (充当割合:6.50%)</p>
河川 修繕費	令和元年の台風第19号により、新たに土砂が堆積する等、氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。 (相模川、酒匂川、金目川など)	<p>《実施箇所》 相模川、酒匂川、金目川など 河床掘削・樹木伐採 59箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 相模川、酒匂川、金目川など 35河川47箇所</p>		<p>3年度事業費 ⇒3,848百万円</p> <p>グリーンボンド充当額 ⇒280百万円 (充当割合:2.80%)</p>
河川維持 改修 事業費	令和元年の台風第19号で溢水した箇所や常時土のうが設置されている箇所などについて、嵩上げコンクリート等の緊急対応工事を実施する。 (山王川、目久尻川、境川など)	<p>【緊急補修等の 未然防止対策工事等】</p> <p>《実施箇所》 歌川、相模川ど31箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 歌川、相模川など 14河川19箇所</p> <p>など</p>		<p>3年度事業費 ⇒839百万円</p> <p>グリーンボンド充当額 ⇒440百万円 (充当割合:4.40%)</p>

【河川の緊急対応：実施例】

① 河床掘削（金目川）



② 緊急補修等の未然防止対策工事（歌川）



4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ①

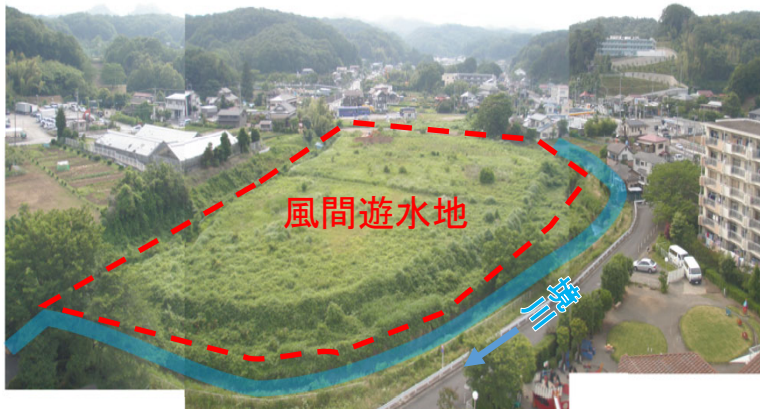
(1) 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備

対象事業		アウトプット (令和3年度)	環境改善効果	令和3年度 事業費
河川 改修 事業費	遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等、事業着手中の全ての大規模事業について、重点的、集中的に実施し、計画を5年間前倒しして、概ね10年以内での効果の発現を目指す。 (引地川、境川、山王川、柏尾川など)	【遊水地整備】 ≪実施箇所≫ 境川、柏尾川など 5箇所 (うち、事業完了箇所) 境川風間遊水地	浸水面積、浸水区域内人口 及び想定被害額の変化 浸水面積の 約25 ha減 浸水区域内人口の 約260人減 想定被害額の 約20億円減	3年度事業費 ⇒12,910百万円 グリーンボンド 充当額 ⇒5,620百万円 (充当割合: 56.20%)
		【鉄道橋架替】 ≪実施箇所≫ 山王川、境川 2箇所	注) 令和3年度に完成した遊水地のほか、上下流の河道整備を含めた事業区間の完了後に、計画の対象規模の洪水が発生した場合の整備効果を示す。	

【遊水地整備：実施例】

境川風間遊水地

施工前



施工後



4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ②

(2) 海岸保全施設等の整備

対象事業		アウトプット (令和3年度)	環境改善効果	令和3年度 事業費
海岸 高潮 対策 事業費	堤防高や消波機能等が不足する海岸のうち、近年、高潮や高波で後背地の家屋などに被害が発生した海岸について、優先的に護岸等の海岸保全施設を整備する。 (小田原海岸、葉山海岸など)	《実施箇所》 小田原海岸、葉山海岸、湯河原海岸など護岸等の整備 4海岸	県の海岸保全基本計画に基づく高潮や津波対策として護岸等の海岸保全施設を整備する海岸数 4海岸 ※令和4年度も引き続き整備中。	3年度事業費 ⇒1.263百万円 グリーンボンド 充当額 ⇒430百万円 (充当割合:4.30%)

【海岸保全施設の整備：実施例】

① 湯河原海岸



② 葉山海岸



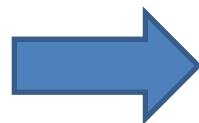
4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ③

(3) 土砂災害防止施設の整備 ①

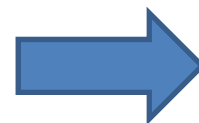
対象事業		アウトプット (令和3年度)	環境改善効果	令和3年度 事業費
通常砂防 事業費	地域防災計画に位置付けられた避難路の被害を受ける恐れのある箇所などについて、砂防堰堤等の整備を重点的に実施する。	【砂防堰堤工等】 《実施箇所》 山岸沢(小田原市)、瀬戸沢(箱根町) など 34箇所 (うち、事業完了箇所) 玉川(小田原市)など 15箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 12市町	3年度事業費 ⇒1,880百万円 グリーンボンド 充当額 ⇒814百万円 (充当割合:8.14%)
防災砂防 事業費		【溪流保全工等】 《実施箇所》 下山川(葉山町)など 34箇所 (うち、事業完了箇所) 延沢(秦野市)など 10箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 13市町	
砂防施設 改良費		【護岸補修工等】 《実施箇所》 水無川(秦野市)など 17箇所 (うち、事業完了箇所) 内川(南足柄市)など 7箇所	既設砂防施設の補強・改良工事を実施する地域数 11市町	
地すべり 対策 事業費		【アンカー工等】 《実施箇所》 早雲山(箱根町)など 6箇所 (うち、事業完了箇所) 早雲山(箱根町)など 4箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 4市町	

【土砂災害防止施設の整備：実施例】

① 砂防堰堤工（玉川）



② 溪流保全工（延沢）



4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ④

(4) 土砂災害防止施設の整備 ②

対象事業		アウトプット (令和3年度)	環境改善効果	令和3年度 事業費
急傾斜地 崩壊対策 事業費	急傾斜地の土砂災害警戒区域のうち、要配慮者利用施設のある箇所や過去にがけ崩れがあった箇所など、早期に対策を実施すべき箇所から重点的に整備する。 (大滝町地区(横須賀市)、牧野上ノ久保地区(相模原市)など)	【法面工等】 ≪実施箇所≫ 大滝町(横須賀市)など 228箇所 (うち、事業完了箇所) 大滝町(横須賀市)、池子3丁目B(逗子市)など 92箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 21市町	3年度事業費 ⇒6,180百万円 グリーンボンド 充当額 ⇒1,766百万円 (充当割合:17.66%)
急傾斜地 施設 改良費		【法面工等】 ≪実施箇所≫ 六浦町F(横浜市)など 19箇所 (うち、事業完了箇所) 六浦町F(横浜市)など 16箇所	既存急傾斜地崩壊防止施設等の補強・改良工事を実施する地域数 9市町	

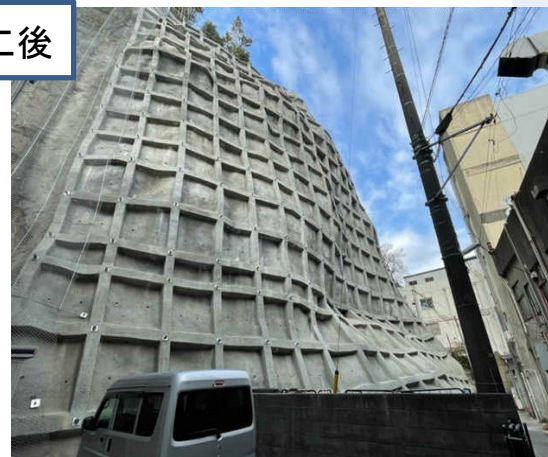
【急傾斜地崩壊防止施設の整備：実施例】

① 大滝町（横須賀市）

施工前



施工後



② 池子3丁目B（逗子市）

施工前



施工後

